

株式会社オスモティックジャパン

成長分野型

試作開発＋設備投資

全国初の健康器具！O脚矯正器具「LEGOOL」の商品化

自社で保有する整体技術と香川大学工学部との産学連携により、O脚矯正器具「LEGOOL」を開発した。機能性のみならず、デザイン性も高めること、製造設備投資なども課題としながらクリアしつつ、市場に流通させることのできる商品として完成させた。

Q 取組の背景

Background of efforts

弊社は、平成19年4月に「きたの均整院」を開業し、骨格や筋肉、神経に刺激を加え、身体の歪みを矯正していく均整術を提供している。施術（臨床）を通してお客さまの身体に対する悩みが、時代とともに変化していることに気づいた。近年では、肩こりや腰痛といった疼痛症状に限らず、O脚矯正、骨盤矯正、猫背矯正など、容姿に関する矯正需要が若年層を中心に増加傾向にある。なかでもO脚は「スカートが履けない」という生活上の不便と直結するものである。この矯正は、将来的に生じるであろう膝の傷害・障害のリスク軽減にもつながる。そこで、O脚を改善させる器具の開発に取り組み、商品化をめざした。

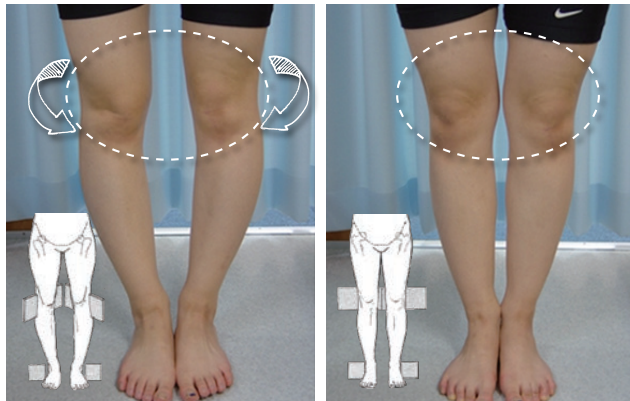
事業の実施内容

Implementation content

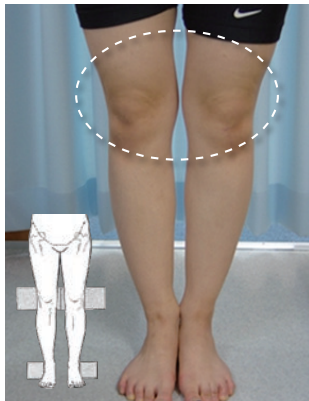
まず、O脚形成のメカニズムを解明する。O脚とは、両足をそろえて直立すると、両膝が離れ、脚がアルファベットの「O」を形づくっている状態を言う。それは、単純に膝が離れた骨格の歪みではない。O脚矯正前後の写真（図1、2）を比較すると、膝が正面、もしくはやや外側に向き、両膝間が狭くなっていることが分かる。O脚は、脚の内旋（内側へのねじれ）が生じ、形成されてしまうものである。

これは、外旋筋の筋力が低下しているためである。外旋筋は、股関節を安定させる重要な筋肉ではあるが、細く小さい筋肉なので、筋トレのような激しい運動ではなく、地味で正確な運動の反復が有効である。これにより、大腿筋を外側へと、正常な位置に誘導させることでO脚は矯正される。

このような運動が日常生活において無理なく、個人でトレーニングできる器具を開発することとした。



【図1】O脚矯正前



【図2】O脚矯正後

事業の成果

Achievement

大腿筋を外側へと正常な位置に誘導させる運動を、かかと部分を中心軸として、円を描くように「外側に開く」「内側に閉じる」を繰り返すトレーニング方法と整理した。その上で、その運動が日常的に一人で行えることを念頭に、器具の開発を行った。

商品として市場に流通させる以上、器具の構造設計（強度・耐久性）、のみならず、デザイン性も重要である。とりわけ、O脚の矯正に関心を寄せている若年層の女性に共感の得られるデザインは必須の要件である。そこで、構造設計に関しては、東京ディズニーランドの認定工場でもあり、プラスチック成型業界で高い評価を得ている松浦産業株式会社（香川県善通寺市）と共同研究を行った。また、工業デザインは株式会社エムツーデザイン（福岡県粕屋郡）の協力を仰いだ。

さらに金型メーカーと打ち合わせを行い、プラスチック成型による試作製作を行った。検証においては、香川大学の協力も得つつ、強度、耐久性、安全性などのテストを繰り返した。

以上のような工程を通して完成したO脚矯正器具を、脚（leg）をぐるっとまわして使用することから「LEGOOL」と名付けた。



【図3】開発した「LEGOOL」



【図4】使用状況

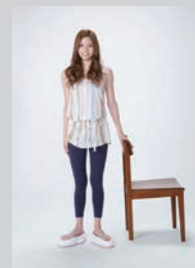
今後の展望

Future prospects

現在経営している「きたの均整院」および健康器具販売を目的として立ち上げた「オスモティックジャパン」を通して、当該製品のPR・販売を促進する。その手がかかりとして、健康関連の展示会に出展したり、通販各社へのPR活動を行ったりした。

この器具は、O脚矯正のみならず、ヒップアップ、むくみ、骨盤調整などにも効果が期待できることから、複数のアプローチで市場に投げかけ、マーケットの拡大を図り、独自の市場を獲得することが見込める。これら事業を通し、雇用人数を増やし、地域への貢献もしたい。

モニターの声



■モニターAさん（28歳女性）

「こんなエクササイズは初めてしました！使ったことのない筋肉を使って驚きです。ヒップホップされている実感もありました。デザインもかわいいので、お部屋にあって邪魔にならないと思います」。

■モニターBさん

「『LEGOOL』で脚を開くときに、背筋まで自然と伸びることに驚きました。立ち仕事をしているのですが、足のむくみも改善されたように思います」。

■モニターCさん（23歳女性）

「外旋筋（お尻の筋肉）に正しく働きかけ、骨盤周辺の筋肉を使ったエクササイズが行えた。猫背にも悩んでいたが、背筋までピンッと伸びて、姿勢まで改善傾向となることが分かった」。

COMPANY PROFILE



株式会社オスモティックジャパン

所在地 〒769-1501
香川県三豊市豊中町比地大1961番地1

TEL 0875-24-8738

設立 2014年 9月

代表者 北野 優旗

業種 健康器具の開発・製造・販売

従業員数 3名

URL <http://store.osmotic.jp/>

事業内容

「美」と「健康」を追求し「驚き」と「共感」をお客さまにお届けすることを旨に、社員 一人ひとりが「お客さまのキモチ」を感じられる会社であり、お客さまのために何ができるのか考え、行動に移せる集団。

2015年 知的財産権取得

特許：特許第5764247号

意匠：意匠第1526395号（全体的意匠）

意匠第1525725号（部分的意匠）

意匠第1525726号（部分的意匠）

商標：商標第5756444号

「LEGOOL」「レグルル」

2015年 かがわ中小企業応援ファンド事業助成金 採択



代表取締役 北野 優旗

豊富な臨床経験と学術から生まれた健康器具で、より多くの人の健康と美容に貢献します。

わたしが代表を務める「きたの均整院」は、創業以来9年間、整体技術の品質に常にこだわり、お客さま一人ひとりにとって最高の満足感と施術効果を提供することに努めてまいりました。そのような甲斐もあり、現在では予約が数ヶ月先まで埋まる状況であり、深く感謝いたします。

今回、本事業で商品化した「LEGOOL」は、これまでの勉強や臨床経験をもとに開発したものです。治療家として、本当に困っているお客さまのお役に立てる選択肢が増えたと同時に、生活習慣等から起きる根深い症状にも日常的かつ個人的にアプローチ可能になったものと考えます。今後もお客さまにご満足いただけるサービス、商品の開発に全力を尽くしてまいります。